



菅波 茂

ミャンマーの首都であるヤンゴンに「AMD A 伝統医学訓練センター」が建設されている。ミャンマー人の伝統医にしんきゅうを教えるセンターである。ミャンマーの伝統医学の大学は古都マンダラシにあり、ここを卒業し、地域社会で働いている伝統医を対象としている。プログラムを教えてくれるのは、私が客員教授をしている中華人民共和国の南京中医薬大学の医師たちである。

ミャンマーは世界の最貧国で、民主化問題で先進国からの経済封鎖が続いている。政治問題と地域住民の健康問題は別次元の問題で

2000.7.13

AMD A 伝統医学訓練センター

ある。貧困は住民の健康をむしばんでいる。

中部ミャンマーのメツ

チラーでAMD Aは医

療活動を展開してい

る。ここでは栄養失調

の子供たちに週2回、

4週間で合計8回の昼

食を与えている。これ

だけでも栄養失調は一

時的に改善する。問題

は両親の収入が少ない

こと、すなわち貧困だ。

AMD Aはメツチラ

ーで小規模融資を地域

住民に実施している。

商売や小規模事業の資

本を貸す。毎週利息と

元本を定期的に返済し

てもらう。この時に健

康教育を実施して役に

立つ知識を身に付けてもらう。すなわち、健康教育と収益事業の組み合わせである。

ミャンマーの伝統医は都市でなく、田舎の医療を支えており、

地域社会で人望がある。彼らに

医療コストの安いしんきゅうに加

え、小規模融資の責任者になっ

てもらってはどうか。AMD A伝

統医学訓練センターはこのよう

な趣旨で建設、運営される予定

だ。

このセンターの設立資金は外務

省の「草の根無償資金」から出て

いる。この資金は、発展途上国の

地域社会に直接役立つプロジェクトに

適応されることを付記してお

きたい。

(アジア医師連絡協議会代表、題

字は筆者)